

令和5年度取組状況

ものづくり工学科

一般科目

教授

門多 嘉人

	取 組 状 況
教育	①授業の中で、持久走、長距離泳を実施することで、学生たちの体力の向上を図ることができた。 ②3年生の実技では、昨年の経験を活かし班別でゲームを実施することができ、リーダーを中心に運営することができた。 ③4年生の授業において、ゴルフなどの個人競技において、iPad等を使用して動きを確認しながら、技術の向上を自分たちで行うことができるような指導をすることができた。 ④今年度は遠隔授業を実施する機会があまりなく、新しいコンテンツを作ることができなかった。 ⑤できるだけ学生一人一人に声掛けを行った。技術のコツやルールを知りたいなど、個々の要求に合わせた指導を行うことができた。
研究	①関信越地区高専バスケットボール大会の試合を分析して、リバウンドの重要性とミスの減少が試合の勝敗を分ける要因となることが分かった。 ②新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもの基礎体力低下が言われている。本校の学生においては、大きな影響が出ているところまではないが、体力の部分で変化が見られた。
社会貢献	①近隣中学生を対象とした練習試合を行うことができた。また、荒川区・中央区・台東区選抜バスケットボール大会の運営の補助を行った。 ②南千住警察署協議会の会長として、年4回の会議の運営を行った。署長より受けた諮問について話し合いを行い、地域の安全を守るための答申を提出した。 ③本年度より体育施設の開放事業が再開した。管理課と連携をとりながら実施するとともに、安全に施設を使用してもらうための点検などを行った。 ④東京都バスケットボール協会の総務委員として大会運営の補助を行った。また、指導者講習会における運営のお手伝いをし、バスケットボールの普及発展に寄与した。